

小学1～3年・実技教科・体育、校内学習 「マット運動」

エジプト・カイロ日本人学校

I 前提

学校環境

在籍児童生徒数 小学部 22 名、中学部 30 名

エジプトは 2019 年度末から新型コロナ感染拡大で、多くの児童生徒が日本への帰国を余儀なくされた。2020 年度 4 月当初から 7 月まではオンラインでの授業とし、日本とカイロをつないで学習活動を展開した。2 学期から児童生徒が登校できるようになり対面授業が可能となったが、カイロに戻ることでできない児童生徒や一時帰国等で日本に帰る児童生徒、また、自主隔離中の児童生徒達に向けて、可能な限りオンラインによる授業を行った。オンライン授業の足りない部分については資料や宿題を作成し、点検活動を行いながら遅れのないよう配慮した。

課題と目標

<課題>

ICT 関連機器の不足、各教室の Wi-Fi 不備、通信状況の不安定さから ICT を活用した教育については日本よりかなり遅れをとっている。学校に登校できない状況はコロナだけではなく、エジプトという環境下においては、いつ何かが起きてそのような状況になってもおかしくないを考える。この度のコロナ禍で大多数の児童生徒が一時的帰国を余儀なくされ、できる限りの環境整備を行った上で、カイロ国内、カイロと日本を繋ぎ Zoom による授業を展開した。その際、校内の ICT 機器不足や機材の不備によって、授業内容が満足に展開できないという状況を思い知らされた。

<目標>

ICT 機器の充実によって、児童が自ら調べ、まとめ、発表するというプロセスが可能になり、児童の学びを高めるとともに、本校の教育活動にさらなる厚みが増すと考えられる。授業では ICT 教材の有効活用等、様々な場面において ICT 機器を活用し、児童が帰国後もスムーズに日本の学校生活に移行できるように支援していきたい。

2 実践の内容

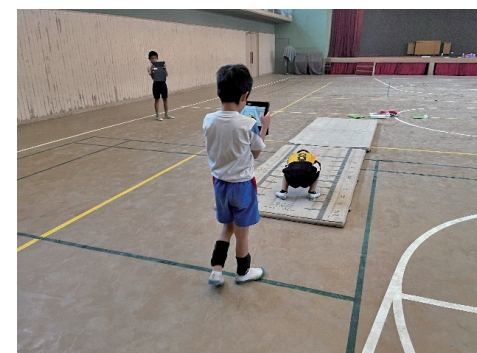
活用した ICT ツール

- » iPad
- » 動画再生ソフト

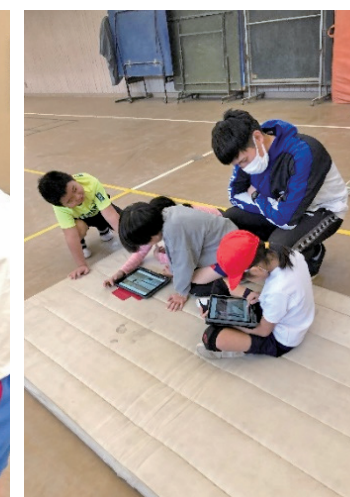
具体的な活用方法

<前転（前転がり）・後転（後ろ転がり）>

- » 技の確認
- » iPad を用いて自分の動きを動画で撮影し、ほめ合ったり、アドバイスし合ったりする。
- » iPad を用いて互いの動きを撮影する。



- » 撮影した動画を再生し、話し合い活動をする。
- » グループの仲間に聞いたり、動画をふり返ったりして、自分の能力に適した課題を見付ける。



iPad を用い、動きを撮影し合う。その動画を見返すことで、仲間の動きの良いところを見付けることができたり、それをもとにアドバイスをしたりすることができる。また、自分では分からない自分自身の動きを確認できるため、技能向上に繋がると考えられる。

3 成 果

ICT ツールを活用したことでできるようになったこと

iPad を用い、器械・器具を使っの運動遊び及び器械運動（マット運動）の学習に取り組むことにしたが児童たちは普段の生活の中で iPad が身近な存在となっており、指導者からの説明を聞かなくても、操作できる児童がほとんどであった。

動画を見返すことで、仲間の動きの良いところを見つけることができたり、それをもとにアドバイスをしたりすることができる。また、自分ではわからない自分自身の動きを確認できるため技術向上に繋がると考えられる。今まで自分の動きやクラスメイトの動きをじっくり確認し、話し合う場面を作ることができなかったが iPad を用いることで円滑に話し合いを進めることができるようになった。

→学校での授業での活用だが、もしオンライン授業に切り替わった場合でも各家庭で保護者サポートの上、簡単な体操や動きであれば自ら撮影し、Google などのアプリを用いることで動画共有や課題のまとめなどを行うことができるので学校での授業に近づけることが可能である。

児童生徒、教師、保護者の反応

<教師>

- » 動画を撮影することで、自分の動きや体の使い方を自分自身の目で確認することができる。
- » その動画を記録しておき、何度も見返し、比較することで、自分自身の課題や変化に気づくことができる。